

きょうこう

教育情報誌

vol. 49

2024年10月

巻頭インタビュー

●お笑い芸人

小島よしお
「面白い」には
力がある



特集 防災の「今」 2つの事例から

心に残る子どもたち

福島県立好間高等学校 教諭

大井 彩

宮崎県都城市立大王小学校 校長

長谷川 雅一

教職員の健康を応援 第1回

「健康と食事」

～漢方の視点から～

My Second Life (vol.19)

元校長 クラフトビール醸造会社を起業

100年続く会社を目指す

塚越 敏典

わたしたちの学校自慢

● 専門高校シリーズ (vol.14)

岡山県立東岡山工業高等学校



●お笑い芸人

小島 よしお



「面白い」には
力がある

profile

1980年沖縄生まれ千葉育ちのお笑い芸人。早稲田大学教育学部国語国文科在学中にコントグループ「WAGE」のメンバーとして活躍。2006年3月WAGE活動休止。その後、ピン芸人になり「そんなの関係ねえ!」でブレイク。2011年より子ども向けライブステージ開始。2020年4月からのYouTubeチャンネル「小島よしおのおっぱぴー小学校」で、子どもの学習を支援する動画を公開。コロナ禍の学習動画として、子どもたちや保護者から絶大な人気を得た。キッズコーディネーショントレーナーの資格を持ち、子ども向けのイベントも多数開催中。



読者の中から抽選で3名様に、小島よしおさん直筆サイン入り書籍をプレゼントします。

小学生22人からの相談の回答をまとめた「小島よしおのボクといっしょに考えよう」



応募は、はがきに ①住所、②氏名、③電話番号、④ご所属の学校名(組織名)、⑤本誌の感想 をご記入のうえ、以下の宛先までご郵送ください。

■応募宛先 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6
(公財)日本教育公務員弘済会
「きょうこう vol.49 プレゼント」事務局

■締切 : 2025年1月31日(金) 必着
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます

挫折から救ってくれた授業の面白さ

騒ぎ過ぎて先生に叱られることはしょっちゅう。みんなの前で歌手の物まねをしたり、ギャグを飛ばしてずっこけたりする活発な子どもでした。勉強も好きで、特に算数は得意でしたね。小学生の頃から地域の野球クラブに入り、キャプテンを務めました。学級委員長や運動会の応援団長にも立候補する、目立つことが大好きな小学生でした。

ところが中学生で急展開。親と一緒にいることが急に嫌になり、いつもイライラする時期に突入したのです。学校の先生や大人から言われることを、全てひねくって受け止めていました。何を言われても腹が立つ。母親にも暴言を吐いたりしてね。それでも生徒会長や応援団長として、中学生生活は充実させていましたから、内弁慶的な反抗期だったのかもしれませんが。

高校に進学したら、なぜかまた急に落ち着いて(笑)。野球部に入り、野球一色の毎日が始まりました。ピッチャーやファーストというポジション。部員11人の公立高校チームで甲子園を目指したことは良い思い出です。県大会でベスト16に入りました。

一方で、勉強の成績は落ちるばかり。文武両道が自慢だったのに高校で挫折です。補習必須となりました。ところがまた思いがけない転機が訪れたのです。補習で受けた「政治経済」の授業が面白くて面白くて、夢中で勉強しました。そうしたら成績全体が良くなっていったのです。政治経済の藤井先生の補講を受けなかったら、今の自分はないと思います。

大学のお笑いサークルから、プロのピン芸人へ

一浪し、早稲田大学教育学部に合格しました。人前で何かをやるのが好きだったので、在学生で結成されたお笑いサークル「WAGE (Waseda Academic Gag Essence)」に入部しました。その後、5人のメンバーで、大手芸能事務所に所属するまでになりました。このままプロとしてイケるんじゃないかと勘違いして中退を考えたこともありましたが、6年かけてなんとか卒業しました。

卒業と同時に急遽「WAGE」が解散し、ピン(一人の意)芸人の道が始まったのです。自分はプロの芸人だという自信もあったのですが、上手いかなことや、期待に応えられず悔しい思いをすることがたくさんありました。

ある日DJをやるお笑いの先輩のお手伝いに行った時に、ラップで盛り上げてと言われたんですがうまくいかず、「うまくいかなかったけど、そんなの関係ねえ!」って言ったらそれがウケたんです。2006年26歳のときでした。「そんなの関



STEAM教育など、今の教育制度や問題点・改善点について話し合う「次世代教育フォーラム」。工藤勇一氏(右)野村泰朗氏(左)と

係ねえ！」が流行語大賞に選ばれたのは、2007年のことです。

子ども向けライブイベントで感じる 「子どもの人格」

子ども向けのライブイベントを始めたのは、2011年からです。お笑い芸人で子ども向けライブをする人はいなかったですし、スペシャリストが出演するテレビ番組で、自分も何か専門のものを持ちたいと強く感じたことがきっかけでした。尊敬する先輩からのアドバイスというのも大きかったです。

5年程は手探りでしたが、やっていくうちに子どものファンが増えていきました。客席の子どもたちとの掛け合いの「間」が、感覚的に掴めたことも大きいですね。

子どもたちには、シンプルな言葉が届くことにも気づきました。「応援してね」「拍手してね」「返事してね」とシンプルにお願いすると、必ずと言っていいほど素直に反応してくれます。おかげさまで全国各地でイベントに呼んでいただき、子どもたちの元気な姿に僕も元気をもらっています。

「おっぱっぴー小学校」

コロナで学校が休校になり、オンライン授業が始まった2020年4月から、YouTubeで「おっぱっぴー小学校」という学習番組を配信し始めました。休校で下がってしまうかもしれない子どもたちの学力をなんとかしよう!と知り合いの作家さんに声をかけていただいたのがきっかけです。ディレクターさんや塾の先生にも監修に入っただき、みんなで作りあげました。「楽しく学ぶ」をモットーに、今でも「この動画で時計を読めるようになったよ」なんてお手紙をもらえたりするのは嬉しいですね。



子どもたちと稲の成長を見守る

時計以外にも九九、足し算引き算、円周率や小数、整数、分数、割り算、速さ、面積や割合など様々なテーマを動画にしました。分かりやすくするための小道具を作ったりギャグを入れたりして。10分の動画を作るのにこんなに大変だから、学校の先生ってすごいなーってリスペクトが増えました。

子どもたちの悩み

3年前からお悩み相談の連載をやらせてもらってるんですが、中でも人間関係の悩みが多いなと感じています。仲間外れにされる、返事がこない、自分が人より劣って見える…。SNSもそれを加速させているかもしれません。そしてどんどん自分を追い詰めていってしまう。そのベースにあるのは、「不安」なのではないかと僕は感じています。人と比べて落ち込んだり優越感をもったり、劣等感を感じてしまったり。一方で、人の間違いや失敗は許さない。子どもたちにとって息苦しい世の中になってきたなと。それは大人の責任じゃないのかなと思うことが、しばしばあります。

分野を越えて繋がることの大切さ

「芸人のくせに勉強を教えるんじゃない」「芸人のくせに教育セミナーに出るんじゃない」「芸人のくせに○○○○」と、様々な場面で言われてきました。僕は多くの子どもたちと関わるなかで、「面白い」ということには力があると感じていますし、子どもたち自身が主体的に考えられたらいいなと思っています。

多分なんですけど、芸人と教員は「楽しく学びを伝える」という点では親和性が高いと思っています。子どもたちの未来のために、そして失敗を許し合える温かい社会をつくるために、分野を越えて繋がりあうことができればいいなと思います。

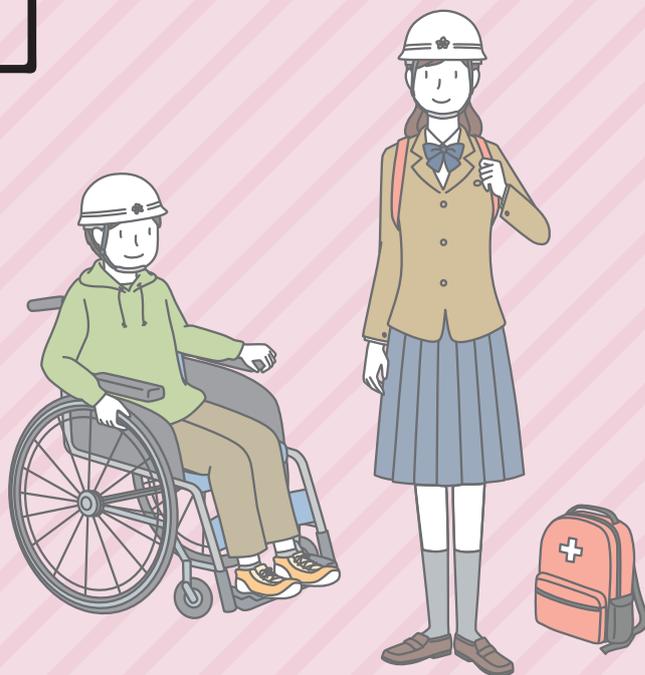
防災の「今」

2つの事例から

令和6年元旦。16時10分に石川県能登地方でマグニチュード7.6(気象庁暫定値)の能登半島地震が発生。阪神・淡路大震災を起した地震や熊本地震のマグニチュードは7.3。それよりも大きな規模だった。気象庁によれば、石川県で震度7を観測するのは観測史上初めて。建物の倒壊や津波の被害などで死者は240人以上に(災害関連死含む)。地盤の隆起も確認された。

今年になって震度5以上の地震は豊後水道の地震を含め23回(2024年1月~4月)。昨年1年間の8回を大きく上回る。4月3日には、台湾東部の^{かれんけん}花蓮県を最大震度6強の地震が襲った。

能登半島地震の教訓を踏まえ、6月28日の政府の中央防災会議(会長・岸田文雄前首相)では、国や自治体の災害対応の柱となる防災基本計画を改定。快適なトイレと温かい食事、



ベッドを意味する「TKB(トイレ・キッチン・ベッド)」を災害発生直後から速やかに提供できるよう、市町村に求めた。災害関連死防止や避難生活の改善を加速する。

トイレカーやトイレトレーラーの設置、栄養バランスのとれた適温の食事提供を具体例として明記し、段ボールベッドなど簡易ベッドは避難所開設当初から設置するよう強調した。ヨーロッパでは定着している「TKB」は、医師らでつくる「避難所・避難生活学会」も極めて重要な対策であると指摘している。

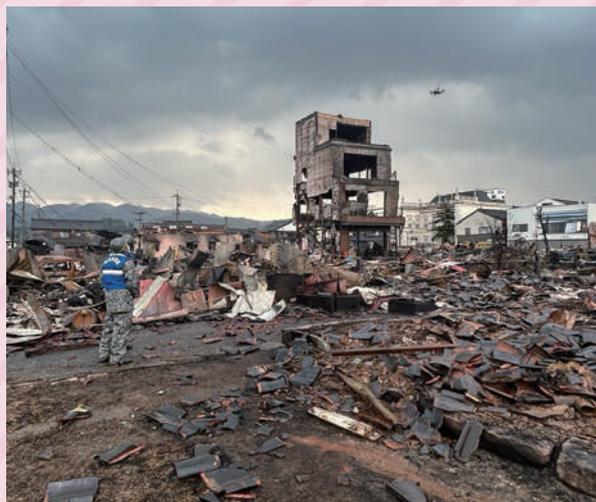
また、猛暑に見舞われた8月8日には、宮崎県の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生した。この地震で宮崎県日南市では最大震度6弱が記録された。日向灘を震源とする地震で震度6弱以上の揺れを観測するのは1919年以降で初めてである。またマグニチュード7以上は1984年8月以来の規模だ。

後続するさらなる巨大地震の可能性が相対的に高まっているとして、気象庁は初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表。政府は、南海トラフ地震防災対策推進地域に対して、地震発生から1週間、日頃からの地震への備えの再確認や、揺れを感じたら直ちに避難できる態勢をとるように呼びかけた。駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とした南海トラフ地震の発生確率は、今後30年で70%といわれている。

この夏には複数の台風も発生し、線状降水帯が全国で発生。公共交通機関の計画運休も行われた。能登半島地震からの相次ぐ地震、台風、猛暑、ゲリラ豪雨、土砂災害と、地震や異常気象に見舞われた2024年も、残すところ数か月になった。

全国各地の学校や地域においても、防災教育は常にブラッシュアップが求められ、大規模災害への備えの見直しが行われていることだろう。いざというときには、準備してきたことしかできないのが過去の教訓だが、年々甚大化する災害に備えるためには、想定を超える事態への備えの必要性が現実味を帯びてきた。

今回の特集では、児童生徒が自発的に考え行動する防災学習の取り組みを2例ご紹介したい。肢体不自由児童生徒が学ぶ埼玉県立日高特別支援学校の防災学習と、高校生がドローン防災航空隊として地域防災を支える静岡県掛川市の取り組みである。



2024年1月6日、輪島市でドローンによる捜索活動が行われた
(提供:防衛省)

誰も取り残さない防災学習 埼玉県立日高特別支援学校の取り組み

「まさか」に備える

創立40周年を迎えた埼玉県立日高特別支援学校は、小学部51名、中学部28名、高等部36名、訪問教育部17名の合計132名の肢体不自由児童生徒が学ぶ学校である。教職員数は140名。埼玉県西部の7市3町を通学区とし、スクールバス10台と保護者の送迎で児童生徒は通学する。

東日本大震災をきっかけとして、生活体験や発達段階に応じた防災学習に取り組み、2014・2015年度「防災教育チャレンジプラン」防災教育優秀賞、「ぼうさい甲子園」9年連続受賞、2019・2021・2023年度に特別支援学校・団体部門で「ぼうさい大賞」を受賞。2024年2月には、「第28回防災まちづくり大賞（消防庁）」にて日本防火・防災協会会長賞を受賞するなど、地域住民や事業所を巻き込んだ防災リーダーとしての学校の役割が高く評価されている。

現在8名（小学部3名、中学部2名、高等部3名）の教職員で構成する「防災部」は、障がいのある児童生徒に適した防災学習のあり方について保護者や地域と連携し、災害事前学習と事後学習を徹底。地



福祉避難所設営訓練の様子

震発生時に倒壊する恐れのある箇所や揺れる棚、また本箱などの固定は、防災部の教員が中心になって行われ、校内の危険箇所は常にチェックされている。

10年継続して実施した 防災体験プログラム

2013～2023年の夏休みに行われた、学校・行政・地域・専門家と共に防災について考える防災体験プログラム。東日本大震災における障がいのある人の死亡率が、障がいのない人の倍であったこと、避難所が利用しづらかったという背景がこのプログラムを作った理由だった。

障がいのある人やその家族は、日常的に防災活動に目を向けることが難しいという現状も踏まえ、児童生徒が通いなれた学校で地域ぐるみで防災について学び、もしものときの行動に繋げることがねらいだ。障がいのある児童生徒が災害時にどのような困難に直面するかを自分事として体験し、支援のあり方を考える機会にもなっている。

トイレの工夫や食事のケア、投棄の用意や停電を想定した様々な災害疑似体験ができるようなプログラムであった。

福祉避難所設営訓練

「防災体験プログラム」と同時に、「福祉避難所設営訓練」を実施。どの教員であっても避難所がすぐに開設できるよう、職員室入口に「スターターBOX」を設置。「スターターBOX」の中には、番号が記載された袋があり、①の袋を開き完了したら②の袋に、②が完了したら③に、次は④へと、避難所開設の手順が

分かるようになっている。

また、学校が福祉避難所になった場合の役割分担を想定するため、140名の教職員が自転車か徒歩で学校まで何分かかかるかを調査。教職員が到着する前に発災した場合を想定した連絡体制も日頃から明確にしている。

年度初めには、保護者に対し引渡しシートとともに、災害時の避難所についてアンケートを実施。全生徒の約3割の家族から日高特別支援学校の福祉避難所を利用したいと回答があり、具体的な人数設定が設営訓練に生かされている。

災害時アクションカード

役割分担は役職ごとに「災害時アクションカード」で明確化。「校長」「教頭①」「教頭②」「事務部長」「教務主任」「防災部長」「学部主事」「グループ長」「担任」「保健医ケア」「休日夜間」「校外学習」の役割が書かれたカードを作成し、A5版は本部ボックス用、A6版は携帯用となっている。緊急時はマニュアルを広げて確認しあう余裕はないため、各教室のドアにもマグネットで貼っている。

避難訓練や、引渡し訓練、防災研修等で使用し、毎回振り返りを行い、このカードの内容も柔軟にブラッシュアップしているのである。確認漏れがないように、行動がチェックできるよう工夫がなされている。

常識にとらわれない身の守り方 「だんごむしのポーズ」から 「忍者の教え」に

地震時に机の下に潜り、頭を守る姿勢をとる「だんごむしのポーズ」。シェイクアウト訓練ではよく見られる光景である。

しかし、車椅子の児童生徒は机に潜ることが難しい、あるいは即座に動くことができないことが多い。机に潜ることができずとも、できるだけ姿勢を低くし

て頭を守る訓練を続けていたが、この姿勢には限界があると教員たちは感じていた。一定数の児童生徒は、このポーズが身体上どうしても難しいからだ。しかも周囲が見えないことから逆に危険なこともある。

それで考えたのが、「忍者の教え」だった。普段から危険な場所を調べ、身を守るためにはどうすればいいのかを自ら考える。物が落ちてくる場所はどこか、倒れてくる物はないか、割れる窓はどこかを細かくチェック。壁に沿ってじっとしている方が安全な場所も多い。それは教職員も同様だ。身を挺して児童生徒を守る教員もいるが、車椅子を押す教員が倒れたら元も子もないのである。児童生徒も教職員も、災害が起きた際に速やかに安全な場所に移動することが最優先。忍者のように、速やかに安全な場所に移動する。それが「忍者の教え」である。従来のやり方に疑問を感じたときには、柔軟に変化させることが重要なのである。



防災頭巾も常に車椅子に

訓練のための訓練にしない

年2回の避難訓練に加え、年に4回の「ショート訓練」として、月曜から金曜までのどこかで様々な場面を想定した防災訓練が行われる。緊急地震速報を用いた抜き打ちの訓練だ。いつでもどこでも対応できるか、水泳の授業中にも抜き打ちで緊急地震速報を鳴らす。プール内の児童生徒だけでなく、脱衣所や授

業を休み教室に残る児童生徒たちの安全が守られているか、全ての児童生徒の安全確認を徹底するためである。

緊急地震速報の音を怖がり、泣いてしまう児童もいる。「サイレンや緊急地震速報の音は、みんなを助けてくれる音だから心配しなくていいよ」と、音を怖がらないようにしていくことも日常の教員の務め。様々な場面での訓練を行うことで、地震発生時の対応力を高めていくことをねらいとしている。

児童生徒による防災委員会



防災委員会による手作りポスター

小学4年生から高校3年生までの児童生徒が、任意で活動する「防災委員会」。毎月11日を「みんなの命を守るゾウ!の日(通称:ゾウの日)」に指定し、校内に大きな手作りポスターを掲げる。

「ぐらぐら妖怪」はナマズの妖怪。危険箇所を見つけてシールを貼り可視化した。「ゾウ」のマークは「安全だゾウ」の意味で、安全箇所もマークし可視化。災害時の混乱下でもすぐに分かるよう考えた。

「かわせみぼうさいクエスト」は、防災委員会が中心となって作成された人気のゲーム。校内に掲示されているQRコードを各自のiPadを使って読み取り、モンスターを倒した後に問題が表示され、正解するとメダルが獲得できる。



「ぼうさいクエスト」
QRコードを読み込む様子

児童生徒の関心や興味を引き、楽しく防災学習に取り組める内容が工夫され、「クエストしよう」という声掛けで、休み時間や学年活動を利用して、友達と一緒に取り組む様子が多くみられるようになった。校長も「神様役」で登場し盛り上げる。ICTを活用した身近で楽しい防災学習の一例だ。



教員の「防災部」と児童生徒による「防災委員会」とが力を合わせ、試行錯誤を繰り返して完成させた「ぼうさいクエスト」。この取組が、「1.17防災未来賞『ぼうさい甲子園(2021年度)』特別支援学校・団体の部」で「ぼうさい大賞」を受賞した

防災委員会の児童生徒による様々な活動

阪神淡路大震災時に小学6年生で亡くなった「はるかちゃん」の自宅跡に咲いたひまわりの種を育て、命の大切さを知り全国の絆を結ぶ「はるかのひまわり絆プロジェクト」にも10年以上取り組んでいる。校内でひまわりを栽培し、収穫した種を地域の方々や日高市の福祉祭り、文化祭などで配布。命の大切さ、災害への備えの重要性を訴え、災害時にも希望を持って生き抜くことを伝え続けているのだ。ひまわりの花びらを乾燥させて、給食で出た廃油を使ったキャンドル作成時に花びらを入れ、日頃お世話になっている方々へ贈った年もあった。



「はるかのひまわり」の種植え

災害用トイレの製作にも取り組んだ。高分子ポリマーを使って仕組みを学び、災害用トイレ(高分子ポリマーの粉、ビニール袋(トイレにかぶせるもの・処分の2種類)を作成。3セットずつ箱に入れ、箱の表に委員会の児童生徒の描いた作品を額縁のようにし校内のトイレに設置した。トイレを明るく楽しい雰囲気。そしていつものトイレに災害用トイレを設置することで、誰でもいつでも分かる備えになった。



防災委員会が設置した「災害用トイレ」。災害用トイレの使い方の紙と3回分がセットになっている。足りないときは、防災倉庫から出す



防災委員会手作りのキャンドル

他にも、無機質なヘルメットにペインティングした「デコヘルづくり」など、児童生徒たちは自ら考え出した活動を続けている。



防災委員会によるデコヘルづくり

校長の市川京さんは言う。「東日本大震災で被害を受けた校長と話す機会がありますが、皆さん必ず『まさかここまで津波が来るとは思わなかった』と話されます。災害には常に『まさか』がある。そのことに備え、心構えを確認し合うのが防災訓練であり防災教育であると思います。車椅子の児童生徒が多数を占める本校では、災害の想定と事前の準備、そして教員の意識の啓発が必須なのです。被災の想定箇所も多く指定し、『安全を運に任せない』備えを徹底します」。

防災部の馬込千明教諭は、「肢体不自由特別支援学校では、避難経路の確認だけの訓練では命を守ることができません。児童生徒をはじめ教員のスキルアップと、日頃からの備えや想定が児童生徒の安全にダイレクトに繋がることを常に意識しています。福祉避難所設営訓練は全国的にも珍しいと言われますが、他校とも連携して情報交換し、不断のブラッシュアップを続けます」と防災部の役割と決意を語る。



校長の市川京さん(左)と防災部教諭の馬込千明さん(右)

防災に特化したドローンの高校生組織 ～地域防災力の底上げを目指して～

高校生ドローン防災航空隊(Kakegawa Balloon flower's)
静岡県掛川市

静岡県掛川市は、北部に山地、南部には遠州灘に面した海岸が広がっている起伏の多いまち。市内には1,300カ所を超える土砂災害警戒区域があり、災害時には人が近づくことができない場所も多く存在する。台風や線状降水帯による土砂災害対策には、地域住民による自主防災会等の協力が欠かせないが、高齢化が進むなか、若い力を巻き込み地域防災力の強化を図ることは喫緊の課題だった。

令和4年度掛川市当初予算案において新たに設立された「未来チャレンジ枠」事業へ、市の危機管理課が提案した次世代の防災リーダー育成事業が、この高校生ドローン防災航空隊の始まりだ。

県立高等学校4校の生徒で構成される 高校生ドローン防災航空隊

掛川市には、県立高校が4校ある。掛川西高校、掛川東高校、掛川工業高校、横須賀高校である。各高校から2名ずつ、計8名の生徒を募集することから事業はスタートした。

令和4年度の1期生は高校1年生、2年生と学年の縛りは設けなかったが、令和6年度からは原則として高校1年生に限定することになった。ドローンを飛ばす期間を、高校在籍中少しでも長くしようという意図からである。

また、災害時には県立高校自体が広域避難所になることから、遠方からの通学生徒ではなく、応募資格を市内在住の生徒とした。夏休みに実施する10時間のドローン飛行訓練及び座学、防災訓練等の行事にも参加できること、地域住民とのコミュニケーション

ン、防災活動に興味関心のあることも応募条件としている。



1期生 訓練の様子

夏休みに行われる訓練

ドローンは現在、掛川市消防本部、市危機管理課、各高校に一機ずつの計6機が稼働。ドローンを扱うためには、国土交通省の許可と登録が必要だ。夏休みに実施される訓練は、ドローンの仕組みや航空法、飛行のための気象条件等を座学で学んだ後、学校ごとに高校生2人・ドローン事業者・市危機管理課がチームを組み、操縦訓練が行われる。ドローンを同じ高さで保ちながら円を描く飛行や、8の字飛行等の飛行技術を習得する。

講師は、市危機管理課が委託する事業者が務める。訓練最終日には屋外に出てドローンを飛ばすのだが、高校生が飛ばしたドローンが捉えた映像によって、今まで知られていなかった山崩れの箇所が発見されたこともある。

指導にあたる事業者は「高校生は真剣で飲み込みも早い。ドローンの操縦感覚を身に付ける感覚も優

れている」と驚く。災害時に高校生による初動の空撮で異変を察知すれば、市と防災協定を結ぶ事業者が詳しく空撮し、測量にも使う三次元点群データを作成する仕組みである。



2期生の座学の様子



2期生の飛行訓練の様子
訓練最終日以外は体育館内で実施



2期生 土砂災害訓練の様子



1期生と2期生合同訓練の様子
久保田崇 掛川市長(前列右から三番目)と

夏休みの訓練では、上空40メートルまでドローンを飛ばす。ドローンの操作は微調整が難しく、飛ばす角度や方向を決めることもなかなか難しい。そして発災時には、100メートル上空を1キロメートル先まで飛ばす可能性もあり、その場合はドローンが視野から消えることになる。ドローンが戻ってくる経路に障害物がないとも限らない。風雨にも左右される。

災害時での実地訓練はできないことから、あくまでも想定内での訓練となる。ドローンを飛ばす場合でも、発災直後ということはほぼなく、少し落ち着きを取り戻し、家屋の倒壊や土砂災害等の状況把握のためというケースが多いと予想している。

県立高校が広域避難所となり、市内の被害状況を早期に把握する必要があった場合は、市からの要請により高校生ドローン防災航空隊がドローンを飛行させ、災害状況の確認を行う。

その映像を市の災害対策本部に送り、復旧・復興に役立てる。



2期生の委嘱式(2023年12月17日)

平常時の活動

ドローン防災航空隊の生徒は、在住地域での防災訓練にも参加し、地域コミュニティの一員として地域防災の一翼を担う。また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域の確認や撮影を行い、危険箇所を把

握。年に一度行われる、消防本部・市危機管理課との合同訓練にも参加し、発災に備える。高校生に対して防災教育の一環として防災講話を行っているが、興味を持った生徒が後に高校生ドローン防災航空隊に入るというケースも生まれている。高校を卒業するまでを任期としているが、卒業後も地域防災に積極的に関わってもらいたいという願いを込めて、「ドローンクラブ」という新しいドローン防災クラブを発足させる動きも出てきたところだ。

結成後初の災害対応

今年9月、台風10号は掛川市にも土砂災害の被害をもたらした。被害を確認するため、掛川西高校と掛川東高校の2年生計4名が、人が立ち入ることができない山の斜面などをドローンで調査。実際に現場でドローンを飛ばすのは今回が初めてだ。

生徒たちは、市危機管理課の新井一弘主任の指導を受けながら、2人一組でドローンを操縦し、高度80メートルまで飛ばし、それぞれ半径1キロメートルほどの範囲を空撮した。そして市内上垂木地区では、台風10号以前から起きていた可能性のある土砂崩れの様子を捉えた。



1期生、2期生、掛川市消防本部、市危機管理課との合同訓練にて

参加した掛川西高校2年生の赤堀心美さんは、「訓練と違って山深く、かなり高度を上げなければならぬのが難しかったけれど、倒木して山肌が露出している様子なども撮影できた。人の目では届かない、ドローンでしか行けない場所があると思うので、そういったところで地域貢献ができるのは嬉しい。役に立てたらいいなと思っています」と、ドローン防災航空隊への誇りをみせた。市は今回の空撮映像を、復旧などの対応に役立てる。

地域に貢献したい

現在、ドローン防災航空隊の隊員は11名。女子生徒も年々増えている。「ドローンに興味があったことが入隊の動機でしたが、訓練に参加し、地域の皆さんから頼りにされていることを感じてから、もっと地域に貢献したいと思うようになりました」「ドローン防災航空隊のことを色々な人に知ってもらって、高校生の代表として頑張っていきたい」等、頼もしい声がかかる。

「公立高校と自治体、事業者がタッグを組む防災体制は、静岡県で初の取り組みですし、全国的にも珍しいと思います。高校生たちの安全は確保できるのか、学校側の責任はどうなるのか、発災時に役に立つ技術を習得できるのかなど、不安視する方もいるかもしれません。災害が起きないことは誰もが願うこ



市危機管理課主任の新井一弘さん

とですが、いざ起きたとき、最も頼りになるのは地域の方々です。地域防災力を高めていくためには、若い世代の防災意識の向上は欠かせません」。危機管理課の新井さんは、高校生ドローン防災航空隊の地域連携に大きな期待を寄せる。2024年春、1期生の一人が消防士になった。

取材後記

取材に入った7月末から8月は、毎日のように熱中症警戒アラートが発出され、台風と地震の影響で交通機関も乱れていた時期だった。そして9月、能登半島北部を豪雨が襲った。能登半島地震からの生活再建を目指していた中での豪雨は、弱っていた地盤にさらに打撃を与え、仮設住宅にも被害をもたらし、集落を孤立させ、尊い命を奪った。今も行方不明者の捜索が続く、土砂崩れで電線が切れるなどの影響による停電、水道管の破裂等による断水も続く(9月末現在)。避難所にヘリコプターで避難する地区住民の様子を、ニュースで見た読者も多いのではないだろうか。

避難所になった小中学校にも土砂が流れ込んだ。土砂が乾き、粉塵によって目や呼吸器に異状を訴える児童生徒も出たと聞く。避難所の床に堆積する粉塵は、感染症や肺炎の原因になることがあるため、頻繁な清掃が欠かせないことも水害被害の特徴の1つである。

季節はこれから冬に向かう。石川県能登地域の一日も早い生活再建と復興を。そして、災害への備えを点検し、いざという時についての話し合いを我々も続けなければならない。「まさか」は必ず起こる。それは明日かもしれないのだ。今回の特集事例から、参考にしていただければ幸甚である。

最後に、多忙の中インタビューに対応してくださった皆様に心からの感謝を。そして、災害から命を守る不断の努力に心からの敬意を表したい。



【心に残る



うれしかった「1年生終わりました」

さい
大井 彩

福島県立好間高等学校 教諭

「先生、1年生終わりました！来年度も頑張ります！」

初めての卒業生を送り出してから1年が経とうとしていた頃、ある一人の生徒（Aさん）から連絡がきました。

Aさんは小・中学校で不登校傾向にある生徒でした。当時私が勤めていた学校は、そのような生徒を受け入れることは珍しくありませんでしたが、その生徒の大半は気持ちを入れ替えて継続して学校に通うことができていました。Aさんもその一人で、1年次はほとんど休むことなく通学していました。

Aさんには入学時から柔道整復師になりたいという夢がありました。自身や家族が抱える身体の悩みを解決してくれる、地元の整体院の先生に憧れを抱いていたようです。夢を叶えるために、県内の専門学校に進学を希望していました。

もうすぐ2年生になる頃、それまで皆勤だったAさんが学校を欠席しました。原因は友達との喧嘩。中学校の欠席理由と同じ理由でした。あまり人付き合いが得意ではなかったAさん。一度すれ違ってしまおうとどうしようもできず、諦めてしまう傾向にありました。どうにか関係を修復できないかと様々な提案をしましたが、双方行動に移すには至らず、その後Aさんは欠席回数が増えるようになりました。

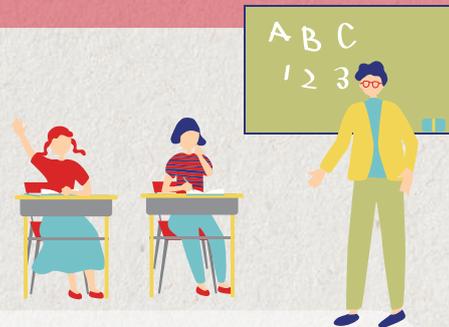
3年生。専門学校受験を控えているAさんは、2年次より欠席日数を減らしながら進路活動に励んでいました。しかし、相変わらず良い距離感で人間関係を構築することはできず、合格が決まるとまた欠席を繰り返すようになっていました。

そのような高校生活を送ったAさん。自分がやりたいことを勉強できる専門学校では頑張れるだろうと思いつつも、なにか上手くいかなかったらまた行かなくなってしまうのではないかと心配していました。でも、Aさんの卒業と同時に異動した私にはどうしているか確認をする術もありませんでした。Aさんが連絡してくれた時、これまでのAさんを思い出し、「ああ、よかった」と胸をなでおろしたのは言うまでもありません。

Aさんが専門学校を卒業するまでにはまだまだ多くの試練があるでしょう。しかし、胸をはって1年間頑張った報告をくれたAさんは、私が知っているAさんより何倍も強くなったのだと思います。そんなAさんならきっと大丈夫だと、今度は安心して見守ることができそうです。いつか立派な整復師になったAさんに会えることが今から楽しみです。



子どもたち



少年の夏休み

長谷川 雅一

宮崎県都城市立大王小学校 校長



毎年、夏休みを迎えるこの時期になると、教え子たちのことを思い浮かべることが多くなる。長期休業に入り、心に若干の余裕ができるからだろうか。

私は、教員として児童自立支援施設に2度勤務したことがある。あまり経験できることではないだろう。1度目は学校教育に「準ずる教育」が行われていたときに、学習指導と生活指導を担当する職員として3年間。2度目は公教育が導入され学校になってから、校長として2年間の勤務である。

1度目の勤務は、15年くらい前に県教委から県立みやざき学園に出向したときのことである。私は小学校籍の教員なので、中学生を指導するのは初めてであったが、生徒指導の経験や知識を生かし、体当たりで勝負しようと張り切っていた。

国語科の指導を担当することになり、初めて教室に入り、自己紹介のあと授業を進めようと板書していると「おい、おまえ」「授業すつとか」「おまえ、面白くねっつよ」と女子生徒に言われた。突然のことで「えっ?」と戸惑いながらも、頭の中では、積極的な生徒指導の考えに基づいて学力を身に付けさせれば、きっと彼女も変わるはずだと自分に言い聞かせていたが…。

当時は週1回の宿直があり、学校での学習指導と寮での生活指導を通して、子どもたちの成長

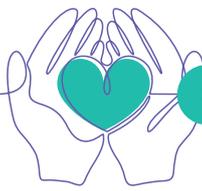
に寄り添う3年間でスタートした。中でも、私が担当したある男子生徒への指導は苦労も多かったが、思い出も深い。彼はエネルギーを向ける方向が間違っていただけで、「気のいい男」であり、リーダー性もある生徒であった。

数件の触法行為があり、夏休み後に家庭裁判所から措置され、入所してきた。当初は力を誇示し、既入所者や職員とのトラブルが絶えなかった。しかし、担当の私と2人で過ごす時間が増えるにつれ、家族のことや今まで行ってきた過ちについても話してくれた。「担当には迷惑をかけられん」と話していたことが後に職員から私に伝わってきたときには、とても嬉しかった。

彼を原籍校に戻すのは困難を極めたが、該当校職員の温かい理解があって、原籍校に復帰することができた。復帰してからも決して順調な学校生活とは言えなかったが、彼なりに自制し、努力を重ねていた。

ところが、「気のいい男」が悪い面に出てしまい、夏休みに事件を起こして少年院送致となった。それから数年後、リーダー性を良い面に発揮し、建設業の仕事に携わり4~5名の社員を雇用していると風の噂に聞いて、安心した。

夏休みを迎えるこの季節、頑張っている彼の姿に、高校野球の声援に負けにくいくらい、心から声援を送っている。



第1回

「健康と食事」 ～漢方の視点から～



岩井 正憲 薬学博士

祖父の代から続く漢方調剤薬局の三代目として大阪市に生まれる。1992年富山医科薬科大学(現富山大学)大学院博士課程修了。薬学博士。大学時代より、中国・韓国・ネパール・インドなどで薬物の現地調査に従事。現在はTV・新聞・雑誌などで漢方薬の解説やコメンテーターとしても活躍。2001年から続く東京・大阪のホテルニューオータニの薬膳料理の総合プロデューサーをはじめ、数多くのホテルで「健康と食事」を指導。2003年にはニューヨークで日本人として初めての薬膳セミナーをプロデュースし成功をおさめる。著書に『21世紀の生薬・漢方製剤』(共著)がある。国際個別化医療学会評議員、日本東洋医学会代議員兼関西支部副支部長。



先生方は、大切な生徒を前に心労の絶えない日々をお過ごしのことと思います。身体を大切にしてもらいたいという願いのもと、今回は「健康と食事」というテーマでお話します。

巷には数多くの健康法や体験談、サプリメントの種類にいたっては枚挙にいとまがなく、どれが正解とはいえませんが、個人の価値観が優先され、納得した健康法を見つけることができれば良いのではないのでしょうか。

私の専門は、東洋医学特に「漢方」での治療を専門としますが、「漢方」とは江戸時代に「蘭方」に対して、日本流に「中国医学」を発展・改良し名付けた日本独自の治療法であり、現在の中国は「中医学」、韓国では「韓方」と呼ばれ未だに発展し続けています。

未病

古来中国には「未病」という考え方があり、それは「大病になる前に察知して治す」という東洋医学の原点となるものです。約2300年前の中国最古の医方書「こうていだいけい黄帝内経」には「病気にさせない医者」として「しょくい食医」の存在が紹介

されており、その考え方をもとに「食物」と「薬物」が区別され、約1800年前の中国最古の薬物古典「しんのうほんぞうきょう神農本草経」には365種類の「しょうやく生薬(植物・動物・鉱物において薬効が認められるもの)」が収載されています。漢方とはそれらの考え方や、数多くの生薬を駆使して脈々と受け継がれてきた伝統医学の1つなのです。

食物がもつ4つの価値と「食療」「食養」の二面性

「薬膳」という言葉を日本で最初に広めた「生薬学」の第一人者であり、わが師の難波恒雄博士(富山大学名誉教授)は、「食物には4つの価値がある」と教えられています。おいしい、美しいなどの「食品価値」、ビタミンや必要な栄養素を評価する「栄養価値」、わさびに含まれる殺菌効果など食物の持つ「薬理価値」、そして薬理作用と似ていますが身体を温めたり汗を出すなど薬効を有する「しょくこう食効価値」という4つの価値。加えて、「薬膳」には病気の治療を目的とする「しょくりょう食療」と「未病」、すなわち病気になるようにする「しょくよう食養」の二面性があることも教えら

れています。

「食療」には専門的な知識や経験が必要となりますが、「食養」であれば、考え次第で身体に役立つ食べ物の知識を得ることにより、家庭でも「薬膳」を実践することができるのではないのでしょうか。

「食事」のもつ意味を意識しよう

一般に「しょくじ」を漢字で書くと「食事」とするのは当たり前ですが、「食餌」と書くこともできます。カロリーや栄養学を気にするあまり、食べ物を楽しむのではなく、身体に良いモノを摂りさえすれば健康になると信じる人もいますが、それはまさに「食餌」そのものといえるでしょう。「食事」とは大切な時間や場所、気の合う仲間と一緒にリラックスしたり笑ったりするなど、心身にとって大切な要素を加えることが重要なのです。

お昼の時間に、ファストフードやコンビニの片隅でスマホを片手にお腹を満たしている光景をよく目にします。食べることは大切なのですが、前向きに身体を大切にする健康法を望むのであれば、まずは「食事」の持つ意味を意識することから始めることが、健康への近道になると確信しています。

身体に良いモノを食べることだけにこだわり過ぎず、また、単に食欲を満たすだけの行為にしないで、家族や仲間と一緒にリラックスして食事をするのが、健康に繋がるのです。一人の食事でも、食べることが楽しい時間になってほしいと願います。



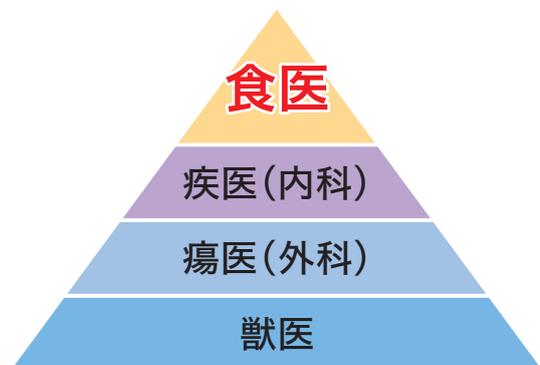
食養の考え方

私は2001年から東京・大阪のホテルニューオータニの薬膳の指導を続けて20年以上になります。大切にしている

のは「食養」の考え方であり、ホテルでの食事となると元気な方々が来店されることが多いので、特殊な生薬を配合したりする「食療」は提供してきませんでした。

時間や場所、人の語らいを大切にする「食事」を意識し、身体に役立つ料理を提供するだけでなく、お客様にどのような時間を過ごしてもらうことができるのかを料理長と検討し、私なりに「食養」を実践してきました。健康食とは料理だけではなく素敵な仲間や家族と共に良き時間を過ごすことがとても大切であり、それはホテルに限らず家庭でも語らいを持つ時間があれば、何気ない身体の変化を察知し病気を予防する「食医」にさえなることもできると信じています。

古代中国の宮廷医師の身分



昔の中国の宮廷には、皇帝をはじめ貴族の健康を守る医師団がいて、内科や外科といった専門分野ごとに階級が分かれていました。その中で最高クラスに位置付けられていたのが、「食医」。“病気を治す”医師よりも、“病気にさせない”医師が重視されていたのです。食べることが病気を予防し、心身を養う。それが今も続く「食養」の考え方といえるでしょう。

漢方の基本は排泄 女性は7の倍数・男性は8の倍数の年齢で変化

日本には「西洋医学」と「東洋医学」が存在し、各々に特徴があり良さもあります。特に「漢方」の基本は「排泄の医学」と喩えられるほど、「身体に不必要なモノを排泄する力があるときは健康」という考え方です。

前述の「食餌」のように「身体に必要なモノさえ摂っていれば健康」との考え方とは異なりますが、日頃の食生活など、今の時代こそ2000年来の東洋医学の知恵に学ぶことも必要なのではないのでしょうか。

中国最古の医方書「黄帝内経」には、「女性は7歳、14歳、21歳、28歳、35歳…」と7の倍数の年齢で身体が変化し、「男性は8歳、16歳、24歳、32歳、40歳…」と8の倍数の年齢で変化することが説かれています。中国の賢人たちは、その年齢の時期になると必要な食べ物や「生薬」を摂り入れながら対処することを重要とし、その考え方が東洋医学、とくに「漢方」の基礎になっています。

五味五性

東洋医学では五臓(肝・心・脾・肺・腎)を基本と考え、春夏秋冬に応じて五臓の働きも分けられています。春は“肝”、夏は“心”、夏の土用は“脾”、秋は“肺”、冬は“腎”が活発となり大切に作る時季と考えます。五臓の働きに従って食材も春夏秋冬に分けられ、春は“酸味”、夏は“苦味”、夏の土用は“甘味”、秋は“辛味”、冬は“鹹味(塩辛い)”の食材に分けられます。この「五味五性」が現在の薬膳の基本となり、旬の食物を大切に作る理由でもあります。

- i. 肝 筋肉や脈を支配し、「血」を集めているところ。
肝の失調は、精神の安定状態や筋肉などに影響を与える。
⇒ 肝系の腑（眼・筋・胆）
- ii. 心 「血」を循環させることで、舌や精神の安定を支配している。
心の失調は舌の先端が深紅になる。
⇒ 心系の腑（舌・血脈・小腸）
- iii. 脾 養分吸収と運搬を担い、考える力を発揮するところ。
脾の失調は著しい「気虚」や「血」の異常が現れ、
手足が黄色くなり食欲に異常が現れる。
⇒ 脾系の腑（口唇・肌肉・胃）
- iv. 肺 「気」と「血」を生成し、皮膚や呼吸器の機能を維持するところ。
肺の失調は呼吸器や皮膚に症状が現れる。
⇒ 肺系の腑（鼻・皮毛・大腸）
- v. 腎 水分代謝、成長と生殖、耳、鼻、歯の機能を維持する。
腎の失調は、気力、精力が落ち、視力や聴力も低下する。
⇒ 腎系の腑（耳・骨髄・膀胱）

秋は胃腸を整えることから

いよいよ秋の季節となりましたが、夏の疲れで倦怠感を訴える患者さんを多く診察する時季でもあります。暑い夏は通勤車内や仕事場で身体が冷やされ、一歩外へ出れば体温以上の猛暑を体感し、外気温との高低差の繰り返しで体温調節を司る自律神経にも負担がかかり、その結果、

だるさや吐き気、イライラや不眠を訴えるなど自律神経失調症として診断するケースが多くなります。

夏の水分過多で胃腸機能低下やだるさを訴えることも多く、漢方では六君子湯や補中益気湯などを処方することもあります。食事の点ではまず胃腸を整えることから始めることが大切です。中国の健康法として暑い時季にはあえて温かい食べ物を摂り、身体を冷やさないようにすることが知られていますが、今年のように体温を超える猛暑となれば、誰もが暑さから身体を守るためについつい冷たいものを摂り過ぎてしまい、胃腸に負担をかけてしまったのではないのでしょうか。

私たちの免疫の70%は腸内でつくられ、100兆個以上の腸内細菌の存在が知られています。胃腸が弱くなると免疫も下がり、思わぬ病気の原因にもなります。漢方を処方する場合でも胃腸機能を尋ねることは大切な要素です。腸内細菌といえば「善玉菌」を増やせば良いと思われがちですが、何事も摂り過ぎは問題です。

秋から冬は「鍋料理」がおすすめ

秋の健康法として「腸を大切に作る」という意識が大切です。それは暴飲暴食を予防することにも繋がります。

秋から冬にかけて、腸内環境を整えるには「鍋料理」は最適な薬膳料理といえます。身体を温め、繊維質の多い野菜やキノコ類、味噌や納豆などの発酵食品も腸内環境にとって大切な要素です。どの食材が身体に良いかはあえて列挙しませんが、私からは「秋冬を上手に乗り越え、春を元気で迎えるためには腸を大切に作る」という健康の秘訣を皆様にお伝えし、週に一度ぐらいは本来の「食事」というスタイルを実践してもらうことができれば嬉しい限りです。



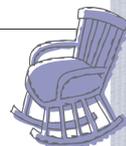


発酵や糖化等のタンクが並ぶビール工房で

元校長 クラフトビール醸造会社を起業 100年続く会社を目指す

株式会社結城麦酒 代表取締役

塚越 敏典 さん 〈66歳〉



「無謀なセカンドライフですよ」。豪快に笑うのは、株式会社結城麦酒社長の塚越敏典さんだ。結城紬で知られる茨城県結城市で、2019年7月にクラフトビール醸造会社を立ち上げ、今年6年目に入った。

地元結城市の小中学校をはじめ、茨城県内で37年間教職を務め、中学校校長で定年を迎えた。定年後は県立美術館に週4日の勤務。いわば悠々自適のセカンドライフが保証された環境に身を置いたものの、「このままでいいのか」と疑問が膨らみ始め、居ても立ってもいられなくなったのだと振り返る。

「生きた証を残したいというのかな。ゴルフはいいスコアができれば嬉しいけれど、人を喜ばすことはできないでしょ。父が70歳で亡くなったこともあり、残された時間で自分に何ができるのかをいつも考えていました。山本有三の小説『路傍の石』に感銘を受けて、一度きりの人生を自分らしく生きることを大切にしています」。

結城市にはまだないもので人を幸せにする仕事は何か。探し続けた結果、「クラフトビール」に目標を定めた。週3日の休みを使い栃木県のブルワリー（醸造所）に修業に通い、試行錯誤を繰り返し61歳でビール醸造所を設立。それが（株）結城麦酒だ。

退職金には手を付けず、銀行から借入れをしてのスタート。事務所や倉庫の増築時にも借入れ額を増やすなど、自らを追い込み、退路を断つことに拘る。クラウドファンディングにも挑戦し、目標の100万円に対し170万円を超える支援を集めた。支援者リストには、教え子や保護者たち、教員時代の仲間の名前が連なっていた。

現在、13種類のクラフトビールを年間1万5千リットル製造する。茨城県は農業が盛んなため、桑の実、柚やとうもろこし、桃やいちごなど、ビールに使える素材も豊富だ。中でも人気を博しているのは、エメラルドグリーン色のビール「ゆうきグリーンエール」。ほんのりとした甘さとホップの苦み、美しい色を楽しむことができる。

全国発送され、社員を雇用できるまでに成長した今、目標は年間3万リットルのビールをつくること。多様な人と関わりながら販路拡大に情熱を注ぐ日々は、いかに世の中を知らずに生きてきたかを実感する日々でもある。教員時代は何でも知っているのかのように話をしていたのですねと、頭を掻く塚越さん。

「『NO PLAY, NO ERROR.』現役時代、生徒たちに言い続けてきた言葉です。失敗を恐れるな、挑戦を諦めるな、やればよかったと後悔するな。今でも僕の信条です。この先の不安は正直ありますが、今日を精一杯生き、未来を向いて、一日一日を積み重ねていくのみです」。

100年続く会社を目指してかけがえのない一瞬を生きるのだと、清々しく断言する。

結城駅から約7分の
（株）結城麦酒

現在ラインナップは13種。素材の異なる芳醇な味は、自分の好みを知る機会にもなり、ホームパーティーも盛り上がる。ラベルの「ナマズ」には、「人生100年時代のアラ還世代の心を震わせる震源地になりたい」「地域活性化の震源地になりたい」という願いを込めた



大人気の「ゆうきグリーンエール」。美しいエメラルドグリーン色のビール



HP



Facebook



わたしたちの 学校自慢

専門高校シリーズ vol.14

岡山県立東岡山工業高等学校

全国初!

「アクアポニックス」研究に挑戦



水槽にメバルが泳ぎ、ハウスでバナナが育つ。トラフグやメロン、いちご、野菜も元気だ。「工業高校」という概念を覆すような学校が岡山市にある。5学科(機械、電気、電子機械、工業化学、設備システム)、全校生徒840人の岡山県立東岡山工業高等学校である。

ものづくりコンテストでの実績も多いが、魚の陸上養殖や野菜・果物栽培など新たなプロジェクトを次々とスタートさせ、食糧難という地球規模の問題解決までも視野にいたれた取り組みが注目を集めている。教師も生徒も夢中になって取り組んでいる姿もまた、分野を超えた人々を驚かせているのだ。

「アクアポニックス」の研究がその1つ。アクアポニックスとは、水産養殖(アクアカルチャー)と水耕栽培(ハイドロポニックス)を同時に行う循環型農法の造語で、魚の排泄物に由来する窒素やリン酸等を用いて植物を栽培するというもの。工業高校の強みを活かし、温室の加温や電力を太陽光エネルギーによって補い、化学分析の技術を駆使して水質管理を行う。全国初のこの研究が、全5科連携のもと進められている。令和6年度から環境教育を重点的に行う「スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業」の助成対象校の指定も受け、今後3年間でこの研究の土壌固めをしていく体制を整えた。

特に岡山理科大学生命科学部の山本俊政准教授が開発した「好適環境水」は、真水しかない場所でも海水

魚を育てることを可能にする特殊な水で、研究の礎となっている。工業高校では「食」や「生物」の分野の研究は敬遠されがちだが、この水を使って養殖産業に切り込み、今後深刻になっていく食料問題の解決の糸口とすることが目標だ。

藤原亨祐校長は語る。「技術はもちろん大切ですが、感覚的な考え方やモノの捉え方がこれからはますます必要になってくると思います。モノゴトを反対側から見てみることや視点を変えてみることで、発想力、想像力、共感力、そしてプレゼンテーション力ですね。グローバルな視点も必須です。そのためのカリキュラム改革も続けていきます。『デザイン力』が学校にも必要だと思うのです。学校全体で『課題研究』と『総合探究』の曜日と時間を揃えたところ、学科間連携が進み、学科を越えた学びが生徒だけでなく教員間にも生まれました。僕は前例のないことが大好きですし、教職員や生徒たちの新しい発想やワクワクを、これからも全力で応援していきます」。

全科一丸となった「アクアポニックス」プロジェクトは、宇宙開発をも視野に入れ始めた。11月1日(金)には、生徒たちによる初めてのポスターセッションが開催される。地球から宇宙へ。岡山県立東岡山工業高等学校から何が飛び出すのか、いよいよ目が離せない。



学校HP



プロジェクトの進捗状況を共有する科学研究部の生徒たち



バナナの水耕栽培に挑戦する電子機械科の生徒たち。装置もすべて自作している



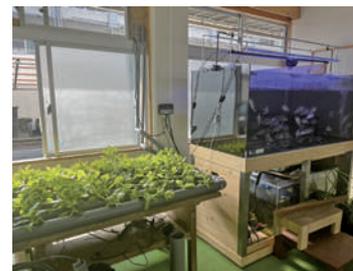
メバルの養殖を行っている工業化学科の生徒たち。水質を管理している



生徒たちが改装した教室「東工カフェ」に設置された大型水槽とバナナの木。工業化学科の永瀬友博教授も、生徒たちとつくるプロジェクトに毎日ワクワクしていると言う



校内を案内してくださった藤原校長。後方にあるのは各種モニタリングや温湿度管理が遠隔で可能なIoTバナナハウス



好適環境水を利用したアクアポニックスの様子。春菊、小松菜、アイスプラントなどの栽培に成功

教職員のみなさまへ



中学生向け 金融教育コンテンツ 提供開始のご案内

「金融教育の授業をもっと分かりやすく、
使いやすいものにしたい…」

ジブラルタ生命はそんな思いから、中学生向けの金融教育コンテンツを新たに開発いたしました。情報技術の発達や社会環境の変化により、金融教育の重要性は高まる一方です。未来を担う子供たちに、正しいお金の知識を身につけてもらえる内容となっています。中学生の金融教育に取り組む先生方にご活用いただければ幸いです。



コンテンツのポイント



中学校の技術・家庭学習指導要領に準拠した内容になっています



グループワークやクイズなど生徒参加型で主体的に楽しんで学べます



生徒用教材に加え指導ガイド付教材により授業をサポートします

コンテンツの内容

①生活設計・キャリア形成

人生の夢や目標を達成するためには、明確なライフプランを描くことが重要であることを学ぶ

②お金についての知識

金銭の管理と購入について身近なものから整理し、計画的な収支管理の重要性を学ぶ

③消費行動

消費者の権利と責任を自覚し、自立した消費者として行動するとの重要性を学ぶ

④契約のルールとトラブル

売買契約を中心に契約の法的効力や金融トラブルを学ぶ

後援：公益財団法人 日本教育公務員弘済会



望を明確にしてみよう！

Q2

自分が達成したい夢や将来なりたい職業などを考えてみましょう

1か月のお金の使い道を

みなさんは何にお金を使っているのかを把握し、お金の使い道を整理しよう。

品名	金額	品名	金額
お米	100円	文房具	200円
お肉	200円	お菓子	100円
お魚	100円	お茶	50円
お野菜	100円	お水	20円
お果物	100円	お酒	3,000円
お惣菜	200円		
おパン	100円		
おジュース	100円		
おアイス	100円		
おスイーツ	100円		
おその他	100円		
計	3,200円		

共済事業(提携保険事業)提携会社

ジブラルタ生命保険株式会社

本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

通話料無料 教職員のお客さま

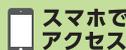
0120-37-9419

本広告の掲載内容に関する問い合わせは、共済事業(提携保険事業)提携会社 ジブラルタ生命保険株式会社 ライフプラン・コンサルタントへご連絡ください。もしくはジブラルタ生命保険株式会社「金融教育プロジェクト」までメールにてお問い合わせください。≫ Mail: GIB_mail.kinyukyoku@gib-life.co.jp

国内外20万ヵ所以上のサービスがお得に！ 福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」

日教弘クラブオフへのログイン方法

STEP. 1 日教弘クラブオフの専用ホームページへアクセス。

 スマホでアクセス   パソコンでアクセス
<https://www.club-off.com/nikkyoko/>

STEP. 2 ログインIDとパスワードを入力してログイン。



ログインID
 会員証に記載されている「支部コード(2桁)」
 +「会員番号(8桁)」計10桁の半角数字

初期パスワード
 ご自身の生年月日(半角数字8桁)
 ※例: 2003年4月15日生まれ → 20030415
 ※初回ログイン時にパスワードを変更いただけます。

さらにログイン後に

クラブオフアプリをダウンロードして、もっと便利に！



動画でわかる！
アプリの使い方



※Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
 ※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

Pick Up Contents

日教弘クラブオフ 会員限定！ 「会員特別イベント」が続々登場！

当クラブ会員の皆さまだけのプレミアムな特典を多数ご用意しています。思い出に残る特別な体験をお楽しみください。

01 クリスマス限定コンテンツもご用意！ 家族で一緒にレゴ®の世界を堪能



レゴランド®・ディスカバリー・センター東京 レゴランド®・ディスカバリー・センター大阪 夜間貸切イベント

- 先着各300名 ※先着順
- 【東京】
11月23日(土・祝)
- 【大阪】
11月30日(土)



会員特典 入場チケット 大人・子ども共通2,700円
 ブロックキット(非売品)プレゼント付

02 サンタクロスからプレゼントがもらえる 夢のような豪華ホテルランチプラン！

サンタパーティー

- 先着各60名 ※先着順
- 【東京(マンダリン オリエンタル 東京「ヴェンタリオ」)】
12月15日(日)
- 【名古屋(ヒルトン名古屋ワン・オー・ファイブ)】
12月22日(日)



会員特典 サンタに会えるクリスマスブッフェ ランチブッフェ(東京)
 大人(中学生以上)：VIP会員 14,800円
 スタンドード会員 15,800円
 子ども(4歳~小学生)：9,800円
 ※名古屋はプラン内容・料金が異なります。日教弘クラブオフホームページをご確認ください。

会員特別イベントはこちらからチェック！ 売切御免！ 早い者勝ち！



- 1 日教弘クラブオフの専用ホームページにログイン
- 2 「カテゴリー一覧」の「会員限定イベント」をタップ
- 3 下にスクロールして、現在販売中のメニューをチェック
- 4 気になるメニューをタップしてお申込み画面へ



●日教弘クラブオフに関するお問い合わせは

0800-919-6189 まで。 **通話料無料** 営業時間10:00~18:00(年末年始除く)

※掲載内容は2024年10月現在の情報です。予告なく変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 ※特典のご利用の際は必ず日教弘クラブオフホームページをご確認ください。※画像はすべてイメージです。

歌声は世界を結ぶ

こずかた 岩手県立不来方高等学校 音楽部

不来方高校音楽部は創設以来、希望の歌声でたくさんの方々の心と心を繋ぐことを願い、日々練習に励んできました。これまで全日本合唱コンクール全国大会に29回出場し、金賞23回、文部科学大臣賞8回受賞等に輝いています。一方、小・中学校や施設等を訪問したり、東日本大震災以降、沿岸各地や内陸での復興支援イベントにも積極的に参加したりしています。

コロナ禍以前はヨーロッパ公演も実施。再開と位置付けた2023年3月の沖縄公演には、OB・OGの有志も参加するなど、音楽部は強い絆で結ばれています。2025年度からは盛岡南高等学校と統合し、「岩手県立南昌みらい高等学校」として音楽部も新たな一歩を踏み出すこととなります。



東日本大震災の発災直後から、被災者を元気づけようと避難所を訪問



地元矢巾町のイベントにも積極的に参加



施設訪問やコンサート会場でも参加者と交流を図っている



公演後のお見送りも大切な時間。笑顔で感謝の気持ちを伝える



2023年3月、本土返還50年目となる沖縄で「さとうきび畑」を歌いたいという強い願いから沖縄公演が実現。地元の高校生・大学生等との合同演奏も。コロナ禍でオーストリア公演を断念した卒業生30名も参加



定期演奏会では必ず校章を背景に校歌を歌う。小・中学校訪問時には、各校の校歌も演奏



〒028-3615
岩手県紫波郡矢巾町南矢幅9-1-1

【鉄道】

● JR東北本線「矢幅駅」から徒歩10分

【学校HP】

<http://www2.iwate-ed.jp/koz-h/>





日教弘マークについて

公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>は、
都道府県を含む総称を「教弘」としていることから、
アルファベットの「K」がそのイニシャルです。
「K」を中心にした楕円形は、日教弘本部・支部が一致協力して事業推進していることを象徴しています。
全体のイメージは、未来への飛躍を展望したものです。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

